

紙袋リユースプロジェクト ~KANDA to the WORLD~

JP20-1086H 金子杏奈
JP20-1028F 岸本侑士
JP20-1125F 飯島柚水

目次

P.3 提案の背景

P.6 アクションプラン

P.16 寄与するSDG

P.18 ソーシャルインパクト

P.20 スモールアクション

P.22 持続可能性

P.23 参考文献

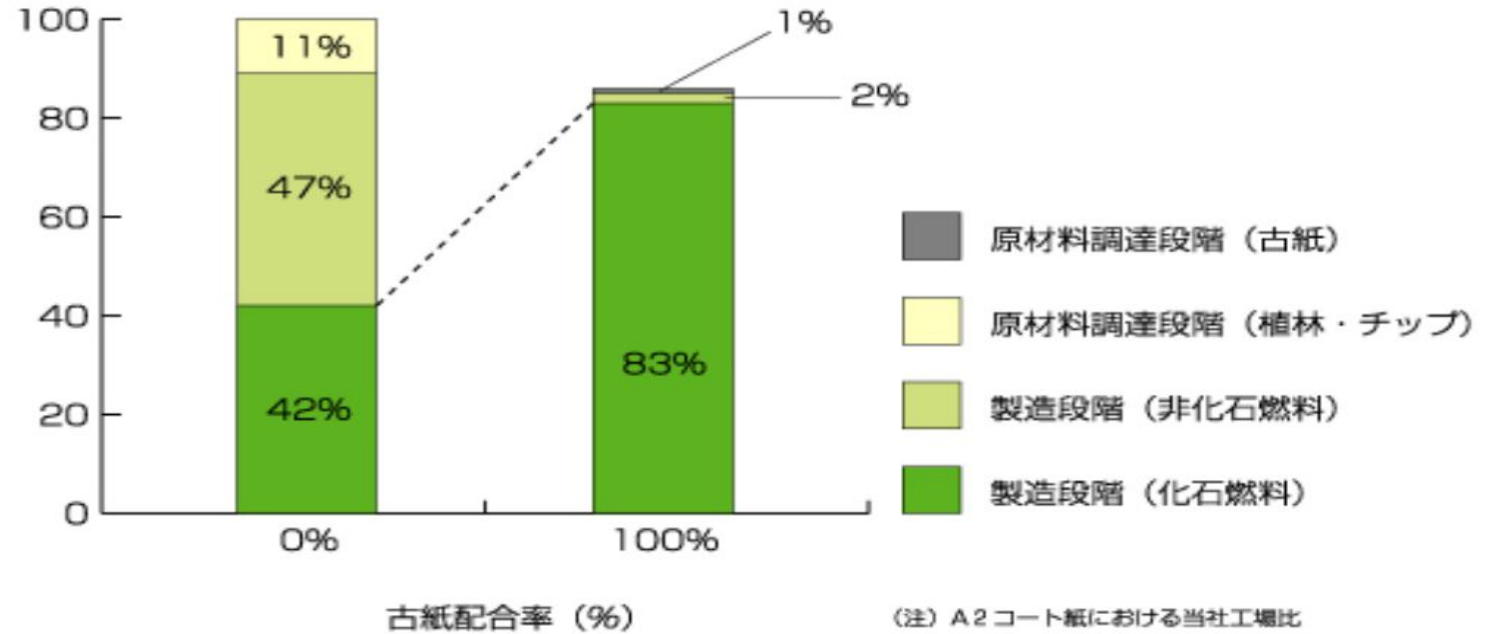
紙袋

【リサイクルで生ずるCO2】

- ①再生された紙袋
- ↓
- ②トラックで全国に郵送
- ↓
- ③別のお客様の手に渡る
- ↓
- ④家庭のごみになる
- ↓
- ⑤①に戻る

【図1】

古紙配合によるCO2排出への影響
 (古紙配合率0%の際に排出するCO2を100とした場合)



全体のCO2排出量は古紙100%配合製品の方が少ないですが、非化石燃料由来のCO2 () は、カーボン・ニュートラルの考えに基づき、カウントされません。従って、製造段階における化石燃料由来のCO2 () 排出量は、古紙100%配合製品の方が多くなります。

「リユース」から始まる循環:【リサイクルで生ずるCO2】の削減

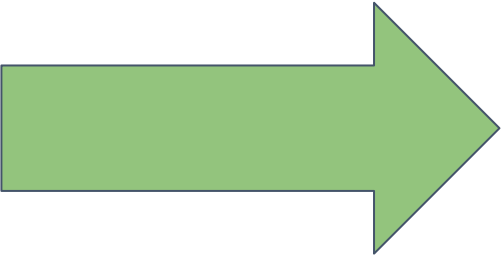
ビニール袋・エコバッグ

【現状】日本の一人当たりのプラスチック廃棄量: 主要な地域・国のなかで2番目に多い

《お店にあるレジ袋の代わり》

リユースされたビニール袋・エコバッグ

★プラスチック製レジ袋(海洋プラスチック問題の原因)が減ると、、、

- 
- 社会全体のプラスチック製レジ袋使用率の低下
 - プラスチック製レジ袋生産の際に使用するエネルギー消費の削減
 - 店側のレジ袋購入コスト削減

目次

P.3 提案の背景

P.6 アクションプラン

P.16 寄与するSDG

P.18 ソーシャルインパクト

P.20 スモールアクション

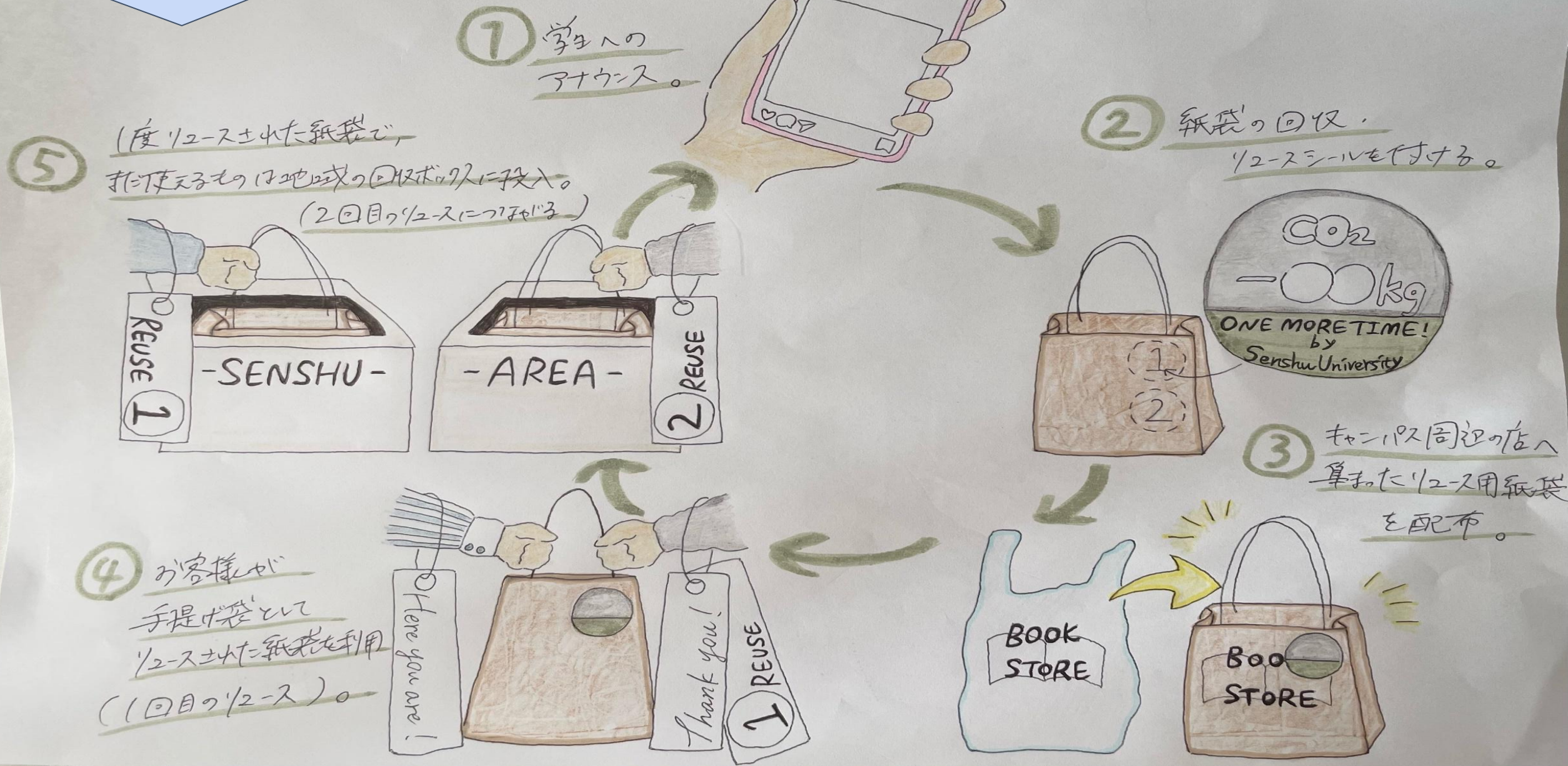
P.22 持続可能性

P.23 参考文献

I 紙袋・ビニール袋リユースの流れ

- ①施設内の出入口にエコポスト(袋回収ボックス)を設置・アナウンス
- ②袋の回収・社会貢献度評価・リユースシール
- ③専修大学周辺のエコストア(プロジェクトに参加可能な店)へ袋を配布
- ④お客様がリユース袋を利用(1回目のリユース)
- ⑤エコポストに投入(②へ戻り、2回目のリユースへ)

アクションプランの流れ



エコポストにおけるナッジ理論の活用

ナッジ理論: 相手の意思決定の癖を利用して自然と行動変容を促す

例) ・男子トイレ

・自転車置き場の貼り紙

→環境問題解決に導入することで、環境保護の促進が期待できる。

★エコポストを「透明」にし、中身が見えるようにする

→取り組み過程が見えることで外発的動機付けを促す。

例) ・多くの人の取り組みを可視化

・自然な分別

社会貢献度評価(ビニール袋も同様)

- ①付箋に学籍番号・氏名を記入
- ②紙袋1枚だけに付箋を1枚貼り、その他の紙袋を入れる(右【図2】参照)
- ③回収ボックスに投入
- ④回収時(1か月ごと)、氏名・学籍番号と枚数を記録
- ⑤1か月単位で枚数が多い順に上位10位までを学内掲示、1年間の1位獲得数で総合評価・表彰



【図2】

リユースシール

回収した袋に、削減されたCO₂を明記したシールを貼る。
→「リユースされた袋」であり、どれほどのCO₂を発生させずに済んだのかがわかる。

《期待》

パートナーシップの証を体現
リユース回数の可視化による意識の向上

エコストア

エコストア：
本プロジェクトに協力いただける店。(右【図3】参照)

例) エコストアステッカー、トロフィー

	店名	プラスチック製レジ袋	紙袋
①	A		○
②	B	○	
③	C	○	○
④	D	○	
⑤	E	○	
⑥	F	○	○
⑦	G	○	○
⑧	H	○	○ (有料)
⑨	I		○
⑩	J	○	○
⑪	K	○	○
⑫	L	○	○
⑬	M	○	
⑭	N	○	
⑮	O	○	○
⑯	P	○	○
⑰	Q		○ (有料) ※
⑱	R		○ (有料)
⑲	S	○	○
⑳	T	○	
㉑	U		○
㉒	V	○	
㉓	W	○	○
㉔	X	○ (有料)	○ (有料)
㉕	Y	○ (有料)	○ (有料)
㉖	Z	○ (有料)	○ (有料)
㉗	A	○ (有料)	○ (有料)
	A		
㉘	A	○	○
	B		
㉙	A	○	
	C		

※⑰Q店では、リユースバッグの提供も行っている。

【図3】

Ⅱ エコバッグシェアの流れ

- ①エコポスト付近にエコタワーを設置・アナウンス
(エコタワー: 寄付されたエコバッグの回収場所)
- ②外出時にエコバッグを利用
- ③エコタワーに返却

エコポスト・エコタワーの設置場所

学内 10号館1階・3号館学生ホール

地域 オフィスビル、商業施設などの出入口

アナウンス方法

- **大学ホームページ**
- **in campus**
- **Twitter**: 専修大学各学部、SKV (専修神田ボランティア) 等
- **Instagram**: ミス・ミスター専修コンテスト各ファイナリスト等
- **施設内の掲示板**

目次

P.3 提案の背景

P.5 アクションプラン

P.14 寄与するSDG

P.18 ソーシャルインパクト

P.20 スモールアクション

P.22 持続可能性

P.23 参考文献

達成に寄与するSDG

- 11.住み続けられるまちづくりを
- 12.つくる責任つかう責任
- 13.気候変動に具体的な対策を
- 14.海の豊かさを守ろう
- 15.陸の豊かさも守ろう
- 17.パートナーシップで目標を達成しよう

目次

P.3 提案の背景

P.6 アクションプラン

P.16 寄与するSDG

P.18 ソーシャルインパクト

P.20 スモールアクション

P.22 持続可能性

P.23 参考文献

ソーシャルインパクト

- ①学生
- ②キャンパス周辺の店
- ③対象の店で買い物をする人(お客様)
- ④他大学・他地域
- ⑤エコバッグシェアを利用する人

目次

P.3 提案の背景

P.6 アクションプラン

P.16 寄与するSDG

P.18 ソーシャルインパクト

P.20 スモールアクション

P.22 持続可能性

P.23 参考文献

明日からできるスモールアクション

- ①エコポスト・エコタワーの設置
- ②in campus、大学のホームページ、SNS (Twitter、Instagram) での宣伝
- ③紙袋・ビニール袋・エコバッグの回収
- ④シールの作成
- ⑤古本屋・雑貨屋に配布

目次

P.3 提案の背景

P.6 アクションプラン

P.16 寄与するSDG

P.18 ソーシャルインパクト

P.20 スモールアクション

P.22 持続可能性

P.23 参考文献

持続可能性

- ①プラスチック製レジ袋の流通削減
- ②中長期的にごみの削減とCO2排出量の削減

袋に限らずこのようなリユースの仕組みを取り入れ、適応範囲を拡大することで、人々のリユースに対する意識の向上とともに2050年カーボンニュートラルを実現

参考文献

- ・「再生紙ラインナップを再編、古紙100%配合製品を廃止」 日本製紙グループ
<https://www.nipponpapergroup.com/news/news07042401.html> (閲覧日:2022年8月30日)
- ・「カーボンニュートラルとは」 環境省
[カーボンニュートラルとは - 脱炭素ポータル | 環境省 \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/press/press.htm?id=20220602-001) (閲覧日:2022年6月2日)
- ・「【COP26】日本が化石賞を受賞しました」 WWFジャパン
[【COP26】日本が化石賞を受賞しました | WWFジャパン](https://www.wwf.or.jp/press/press.htm?id=20220602-001) (閲覧日:2022年6月2日)
- ・「紙類の判断の基準等にかかる検討経緯について」 環境省
https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwjBmZ3BpqX5AhWCGqYKHbaYA7sQFnoECAYQAQ&url=https%3A%2F%2Fwww.env.go.jp%2Fpolicy%2Fhozen%2Fgreen%2Fglaw%2Farchive%2Fh19com_05%2Fref03.pdf&usq=AOvVaw0WC0rjdXSPH_T9q3KIJV6M (閲覧日:2022年8月1日)
- ・「古紙の再生過程」 日本製紙グループ
<https://www.nipponpapergroup.com/knowledge/recycle/process.html> (閲覧日:2022年6月6日)
- ・「地域脱炭素ロードマップ」 環境省
[①地域脱炭素ロードマップ.pdf \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/press/press.htm?id=20220516-001) (閲覧日:2022年5月16日)
- ・「どうしてレジ袋を有料化するの？」 環境省・経済産業省
[どうしてレジ袋を有料化するの? | みんなで減らそうレジ袋チャレンジ\(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/press/press.htm?id=20221101-001) (閲覧日:2022年11月1日)